

## 令和6年度中央児童センター運営協議会 会議録

日時：令和6年11月12日（火）

15時～15時35分

会場：中央児童センター

### 次 第

#### 開 会

##### 1 会長挨拶

##### 2 説明

(1) 児童センターについて (P. 1～2)

(2) 中央児童センターについて (P. 3～6)

(3) 中央児童センターの備品の設置・修繕について (P. 7～12)

(4) 令和5年度及び令和6年度上半期の実績について (P. 13～17)

(5) 利用者アンケート結果について (P. 18～23)

(6) 令和6年度行事予定について (P. 24～25)

##### 3 児童センター運営についての意見交換

#### 閉 会

## 議事録（要旨）

### 【次第3 児童センター運営に関する意見等】

委員：食事は私も気になっており、外の正面玄関横のベンチで食べていたり、テラスのところで食べている方が（いて）、子どもが「食べているよ。」と言うので気になる。そのため、工作室だったら（食べても）いい、外のテラスであれば食べても（よい）、また、例えば時間を決めて12時から15時、16時ぐらいまで食べてもいい、などがあれば、隠れて食べるなどもなくなるのではないか。やはり子どもはそういうことも見ており、「あの友達食べてる。」などと言うため、「そうだね。」と大人はごまかしているが、やはり子どもなりに「あの人は良くてなんで私はダメなのか。」みたいな（気持ち）の）がありはするのかな、と。初めて来たから知らないという方ももちろんいらっしゃると思うが、例えば場所を限定して、絶対ごみは捨てないとか（のルールを定めて）、と言ってもごみは捨てるのだらうけれども、（食べる）場所が決まるとそこで（食べよう）となる保護者もいるのかな、という感じはする。

事務局：食事で1番難しいのが、学校もそうだと思うが、やはりアレルギー持ちの方が交錯をすることで、例えばナッツの食べこぼしが少し転がっているだけで、それを触った子がアレルギー反応を起こしたりすることもあると聞いているため、なかなか（施設内で飲食可の）ルールとして許可するというのは難しいというのが、管理側の考えとしてある。もちろんごみの処分もそうだが、ごみはどうしても目配せ（して確認）するしかない。

委員：そればかりはしょうがない。他の施設でもそう。

事務局：自由来館を目的とする施設の中で、どのようなルールを設ければ線引きができるのかというのはいろいろと勉強していかなければならないと思っているところ。

委員：反対にそれこそ、こそと（館内で）食べて（アレルギーの子が）触った、そちらの方が心配。（アレルギーの症状が）ひどい方にすれば、隠れて食べる方が怖いのかなと。いろいろ難しいとは思いますが。

事務局：ゾーニング的な部分で対応するのか、全てノーとするのかなど、そういう部分のルール付けについては、浸透しやすく、やはり守ってもらいやすいルールにしないといけないと思われる。（児童センターは）特に対象が子どもであるため、やはり子どもがこっそりポケットの中に（食べ物を）忍び込ませて（館内で食べる）、みたいなことはどうしてもあると思われるし、やはり子どもたちも理解してもらわないといけないルールにしないといけないと思う。これは少し勉強させてください。

委員：食事ができないとなったのは、コロナの影響からだと思っていたがアレルギーの関係なのか。

事務局：このご時世全体として、一つの理由だけではない。

委員：上の子が中学生のときから利用しているが、昔はきこりの部屋など、時間が決まっていたか、もう記憶が定かではないが、皆お昼など持ってきて、今2時間制限があるため少し違うが、なかなか子どもがお昼になっても帰りがらないなどの理由で、おそらくきこりの部屋などで（お昼を）食べて、というのがすごく昔は便利だった。私はアレルギーなどではなく、コロナ（が理由で施設内で）で食べられなくなったと思っていたが、（それは）仕方ないかなと思っており、し

かしそろそろコロナなども大分落ちついてきたため、やはり隠れて（食べる）などになるのであれば、時間や場所を決めて以前みたいに戻す、というのは無理なのかと（思う）。

事務局：始まったきっかけというのは一つだったかもしれないが、それをもとに戻すときの要因について検討しなければいけないことが増えており、世の中が複雑化してきた。（食べて）いいですよ、とがなかなか踏み切れない部分は実際あると思う。もちろん利用者の利便性や、のべつ幕なし禁止というのも（それで）いいのかということも感じるため、ゾーニングの話や、こういったルール付けで工夫ができるのかというのは検討を重ねていきたいと思っている。

委員：私がお願いしたトイレ荷台の設置ありがとうございます。

事務局：そういったご意見は、ぜひ言っていたらいい。

委員：来た時、「あ、ついで！」と思って、娘に「ついでよ！」と言った。（荷台が）あったほうが私は便利だと思って（申し上げた）。ありがとうございます。

事務局：施設の、こちらからではなかなか気づかないような、こういったものがあつたほうがいいというのはどんどん言っていて、改善につなげていきたいなと思っているため、利用者視点の指摘や観点をどんどん伝えていってもらえればと思う。

委員：中央児童センターだよりはいつも楽しく読んでいるが、次の次の行事、今月号は載っているが、その次の行事をなるべく載せていただけたらありがたい。比べるわけではないが、他の児童センターは結構来月のお知らせなどが載っており、この行事に行こう、と考えられるが、（中央児童センターは）載っていないときと載っているときがあり、載っていないと来月何があるのかなと。ワクワクもあるが、他の行事や学校行事とかぶらないかとかソワソワが（ある）。（住んでいるのが）この辺の校区ではないため、自分の校区と（行事が）かぶらないかなというのがあるため、よかつたら分かっている部分だけでも、もちろん途中で変更とかあるだろうが、一応今のところの予定などで載せていただけたらすごく助かるかな、と。

事務局：少し早めに載せたりなど。

委員：そう。この間も年中・年少の（イベントについて）、「集まっていないため誰かいませんか。」と（児童センターから）言われたのだが、（知人に）声をかけようにも、もう今月に入っていてあと何日しかないなと思い、もう少し早めに分かっていたら同じ幼稚園の妹・弟がいる方に言えたけれども、もう今だと幼稚園の行事がつまっているからな、というのがあるため、もし分かっていたら早めに（掲載してもらえると）、（知人に）声をかけたりとかできたり、家庭においてどこに行こうかなと予定を立てられる方も多くいらっしゃるのかなと思った。

事務局：分かりました。やはり中央児童センター、行事がかなり多く、（児童センターだよりの）A4サイズの紙に収めることに毎月非常に苦労している。

委員：分かります。

事務局：枠がなかなか確保できてない部分は確かにあると思うため、掲載の仕方を工夫したりなど、早めに次の月を載せるなど、やり方については、今日頂いたご意見をもとに考えていきたいなと思う。

委員：可能であればお願いします。